

き ず な
代 表 質 問

議会事務局
処 理 欄

令和5年8月15日 8時57分 受付
質 問 順 位 第 1 番

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 石原 壽朗

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和5年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 名鉄知多武豊駅西グランドデザインについて	<p>【趣旨説明】</p> <p>武豊町は古くから天然の良港として、また明治19年には国鉄武豊線が開通し、東海道本線沿線の交通の要衝として発展をしてきた。昭和29年には旧武豊町と富貴村が合併し、昭和37年には現在の場所に庁舎が移転され、名鉄知多武豊駅周辺は都市機能の集約された、にぎわいのあるまちの中心部として発展をしてきている。そして武豊町は来年町制70周年を迎える。こうした背景のなか、名鉄知多武豊駅を中心としてJR武豊駅から武豊中央公園までの広いエリアを対象とした「名鉄知多武豊駅西グランドデザイン」が、新たなまちづくりの指針として今年3月に策定された。そこで、名鉄知多武豊駅西グランドデザインの実現に向けたロードマップに従い、以下質問する。</p> <p>【質問事項】</p> <p>① にぎわい創出エリアとして、知多武豊駅前から現庁舎周辺を指している。武豊町の「玄関口」となることから、アクセスが良く魅力的な雰囲気づくりが必要と考える。計画にあたり社会実験なども考えられているようだが、どのような組織でどのような取り組みが検討されているのか。</p> <p>② 生活利便施設集積エリアとして、知多武豊駅を中心とした名鉄沿線の南北に加え、駅東側のみゆき通りからJR武豊駅周辺までが検討エリアとなっている。日常的な買い物や飲食が気軽にできる商業施設を集約することが賑わいのあるまちづくりには不可欠だが、商業者との連携などが非常に重要であり、また課題となる。民間活力を発揮してもらうためにも、どのような取り組みを進めていくのか。</p> <p>③ 公共施設集積エリアとして、武豊中央公園南側が位置付けられている。このエリアには半田消防署武豊支署が来年度には供用開始となるが、役場庁舎を含む公共施設の集積を目指している。武豊町の公共施設はどれも老朽化が進んでいるが、どの施設を移転させ、どれを残すのかは町民の利便性も含め非常に難しい課題であると考え。公共機能の集約をどのように進めていくのか。</p> <p>④ 緑豊かな住宅地エリアとして、現庁舎から武豊中央公園までの武豊港線南北の広いエリアを対象として位置づけ、特に武豊中央公園の北側は新市街地形成ゾーンとして、新たな住宅地の整備を検討する、としている。 人口減少の進む社会で、特に若い世代を呼び込むためには、これまで紹介した各エリアの魅力とともに、住宅地としての環境整備が必要となるが、地区計画の策定をどのように進めるのか。</p> <p>⑤ 数十年に一度あるかという、このような新たなまちづくりを進めるにあたり、住民の声を聞くとともに、住民と知恵を出し合う必要があると考えるが、住民参画をどのように推進するか。</p>